

ロシアは侵略戦争をやめよ

イスラエルはジェノサイドをやめよ

国は物価を超える年金に引き上げよ

大阪府・大阪市はカジノを中止せよ

【スローガン】
楽しみ7分、活動3分
をいつも心に、仲間の
輪を広げよう

年金者しんぶん大阪

全日本年金者組合 大阪府本部

〒530-0041

大阪市北区天神橋1-13-15

TEL06[6354]7207

FAX06[6354]7746

Eメール info@o-nenkin.com

HPは「大阪年金者組合」と検索

楽しく 仲良く 命を大切に

楽しんでこそ年金者組合！
たたかってこそ年金者組合！

「楽しく 仲良く 命を大切に」のロゴは、堺美原支部の合言葉です。



織部蔵府本部執行委員長の音頭で、大会終了時、代議員全員による「ガンバロウ！」三唱。

全日本年金者組合大阪府本部の第37回定期大会が、7月10日(木)13時よりエルおおさか南館5階ホールで開催された。大会代議員定数は116人、当日出席は107人で大会は成立。大会書記長は小寺重光氏(府本部書記次長)、議長は杉嶋正信代議員(富樫支部)と半埜明代議員(交野支部)。主催者挨拶は織部蔵府委員長、来賓挨拶は大阪労連議長福岡泰治さん。大会メッセージは近畿5府県委員長、大阪労連等。質疑討論は11人だった。議案提案は中島信明書記長等、1号〜6号をそれぞれ採択し、新執行部の信任を拍手で採択。「第37回定期大会アピール」を満場の拍手で採択した。大会は、年金をはじめとする誰もが安心して暮らせる社会保障の運動を推進することを誓い合い、伊藤一正副委員長長の閉会の挨拶、織部蔵委員長のガンバロウ三唱で閉会した。

試金石

今年の「骨太の方針」が6月13日に閣議決定されました。その

基本の「基礎的財政支出」は、政策経費を借金に頼らず税収などで賄えるかを示す財政健全化の指標です。2001年に打ち出され、その後何回か先送りされ今年も達成が困難とされています。その盛り込まれた「全世代型」社会保障制度の実現を目指す改革は、医療や介護などの国民の保険料負担を抑えつつ、「高額療養費」は関係者の意見を聴いて秋までに方針を決める。薬剤や介護サービスの自己負担の見直しを検討するなど、言葉巧みに公的責任を回避する姿勢が目立ちます。トランプ関税や米価など経済リスクも触れていますが、来年度に黒字化を目指すのには具体性が乏しく参議院選向けではと感じました。

(K・I)

第37回定期大会

日時・2025年7月10日(木) 13時開会

場所・エルおおさか 南館5階ホール

出席代議員：107人 (男性代議員83人・女性代議員24人)

梅雨も明け七夕も過ぎた向暑の7月10日(木) 13時から第37回定期大会が開催されました。猛暑の中ミニ扇風機、タオル、マイボトルを伴って12時過ぎごろから続々と代議員の数が増え始めました。

大会に 参加して

●年金裁判は、一定の闘う意義はあったと思う。組合員の気持ちからしても新しい闘い方の発想があるのではありませんか。



来賓挨拶をする福岡泰治大阪労連議長

弁護団とも相談のうえ新しい方針があるのではないのでしょうか。

●討論に参加(発言者)した一人ですが、やはり発言時間が短いな、ちよつと物足りないなと思いました。盛り沢山の日程なので仕方ないとは思いましたが。しかし委員長や来賓の挨拶は結構長く羨ましく思いました。

●女性の低年金問題は、元の給料が少なすぎるた



活動報告をする中島信明書記長

めで現在のパート時給を1500円にすれば必然的に年金も上がるのでは。

●年金裁判10年の終了に伴い新しい時代に向かって年金者組合の運動、組織拡大が求められていること。各支部が工夫されている発言に学びを貰っている。箕面支部の仲間作りに挑戦したい。人生を豊かに生きる力と年金者組合の仲間作りなど色々と学んでいきたい思います。

●発言の中で「ミニ学習会を月一回開き5年間で60回開催してる」などの支部活動や集合住宅に署名のお願い文をつけ投入になりました。

し後日訪問し、対話して読者になつてもらうなど今後支部活動の参考になる話しが聞けて良かった。

●参加者発言の中で北支部の方が印象に残りました。仲間づくりの視点で年金加入者に限定せず、全世代に拡げる事、欧州の様に労働組合と年金加入者が手を結び運動を進めているのはすごい事だと。現役世代と年金受給世代とを分断させることなく要求を実現させていくことが大切です。

●年に一度の節目の大会。本音・問題提起を含めた深みのある討論を聞いて考えさせられ、受け身の姿勢だったが多く刺激を貰えました。

●年金問題は全世代の問題。それを考えれば年金者組合に加入がなぜ退職者が多いのか疑問。若い人もどんどん入れたい。

●仲間増やしが難しい中細やかに丁寧な接することを実践している支部が凄い。労連と手を繋ぎ共に闘おうなども。良い学びになりました。

年金相談

Q・6月初旬に日本年金機構から年金額改定通知書と年金振込通知書が送られてきましたが、年金から税金が引かれていました。年金から差し引かれてる税金の計算方法を教えてください。

A・老齢年金は、所得税法の雑所得として扱われ、65歳未満の人でその年の支払額が108万円以上の人、65歳以上の人で158万円以上の人は原則として所得税がかかります。

年金から引かれている税金の計算方は

% (復興特別所得税を含め5・105%) の税率を掛けた額が所得税となります。年金から各種の控除を受けるためには、毎年の秋頃に日本年金機構(各種共済組合)から送られてくる「扶養親族等申告書」に必要事項を記入して提出期限までに提出してください。所得税のかからない人には「扶養親族等申告書」は送られてきませんので提出は不要です。なお、税額計算における各種控除出来るものは他に次のものがあります。医療費、社会保険料、生命保険料地震保険料(火災保険料は控除対象外)、住宅ローン、寄附金、災害などの損失について雑損等です。これらについては控除されずに税額計算されていますので、控除を受けるために確定申告をしてください。税金が戻ってくる可能性があります。

広がる大阪の補聴器運動 ⑳

○羽曳野市で補助制度
実現河南地域で制度化
すすむ

2年越しの要求運動が
実を結び羽曳野市で8月
1日より補助制度の受付
が開始されます。助成の
上限は2・5万円で、65

歳以上の非課税世帯が対
象です。粘り強い運動が
実を結びました。

○市議会議長と懇談し
制度要請 箕面支部

4月25日、岡澤市議会
議長との懇談会が実現。
補聴器公的補助を求める

署名460筆を手渡し、
年金者組合組合員9人が
参加し約40分懇談。組合
から「最低限、議会で審
議するなど市議会は市民
の声に応じてほしい」と
要望。今回のロビー活動
を要求運動に生かしてい
きます。(5月支部機関紙より)

○補聴器のミニ学習会
を開催 寝屋川支部

自治体運動推進部

5月9日、20人の参加
でミニ学習会を開催。高
瀬書記長手作りのテキス
トで、具体的な事例を交
えた説明と、参加者の疑
問・悩みに丁寧な答え、
参加者には好評でした。
この学習会に参加した方
が組合に加入してくれま
した。(6月支部機関紙より)

○春のお仲間増やし月
間145人の仲間を迎
えました。全国第3位！

春の仲間増やし月間は、
各支部の大きな奮闘で1
45人の新しい仲間を迎
え入れることができました。
府本部目標には届き
ませんでしたが、寝屋川、
羽曳野、大阪狭山、富田
林、北、此花、西淀川、
鶴見、城東の9支部が月
間支部目標を達成されま
した。また、大規模模
支部の奮闘とともに小規模
支部の奮闘が光る！月間
でした。その中でも活動

もつともつと元気の組合に

が困難を抱える大阪市内
支部の奮闘が目を見張る
ものがありました。本当
にご苦労さまでした。

「中央本部の仲間増や
しチラシを常に持ち歩き、

まず多くの方に渡す」こ
とに周知した寝屋川支部、
「全組合員さんへ『対象
者紹介して』の訴え文書
を出した」という河内長
野支部、「3年越しのお
誘いで加入してくれた」
という経験を生み出した
という経験を生み出した
思います。 組織部



まんが 金森 丸人さん

文化行楽部 だより

前進座創立95周年記念
京都初春特別公演のご案内

いずも おくに
出雲の阿国

あらすじ

原作 有吉佐和子
日時 2026年
1月8日(木) 15時
30分開演

場所 京都駅ビル
内京都劇場

料金 1等席1万
500円を6700
円。2等席5500
円を3200円の幹
旋観劇料金で。

文化行楽部



右の写真は「出雲の阿国」チラシ表面

府本部定期大会代議員発言要旨

文責・機関紙部

役員紹介

よろしく願います

執行委員長

織部 巖 (高槻)

副執行委員長

伊藤一正 (東住吉)

江川信雄 (富田林)

勝井 正 (富田林)

是枝 一成 (泉大津忠岡)

書記長

中島信明 (豊中)

会計長

山崎健逸 (天王寺)

書記次長

小寺重光 (寝屋川)

長岡佳代子 (城東)

※長谷川良雄 (島本)

執行委員

石野博良 (枚方)

入江いずみ (豊中)

梅本千代子 (東成)

柏原美子 (吹田)

加藤淑子 (河内長野)

河野克昭 (北)

妹尾博文 (箕面)

※高瀬敏幸 (寝屋川)

長江 勝 (茨木)

※信田琢磨 (直属)

林 洋司 (堺北)

藤田雅男 (羽曳野)

山本美登利 (堺北)

会計監査

西本博文 (此花)

廣上珠江 (東住吉)

※は新任。(新・再任共

アイウエオ順＝敬称略)

中村 賢史さん
(枚方支部)



西岡 健二さん
(東大阪支部)



新前 隆夫さん
(住吉支部)



村井 一二さん
(河内長野支部)



一塚 正紘さん
(堺美原支部)



年金者組合を軸に「公共交通の充実を求める会」を2年前から発足させ「諦めたら、何も生み出さない」という気持ちで「運賃助成・公共交通の充実」運動に取り組んでいる。

枚方支部は6つの分会に分けて組織を運営している。組織活性化や情報や知恵の交換が大事で、分会や支部の枠を超えた北河内ブロックなどで取り組みをする視点もいると感じている。支部では月1回組織部会を開いている。今年になって加入21人退会33人、新しい担い手を増やしその人がまた新しい組合員を紹介するという拡大の連鎖、裾野の拡大が理想だが、模索しながら進めている。

「不服審査請求意思統一集会」に参加していく。

大会は府本部の決議機関だ。議案書には大会に次ぐ決議機関として府本部委員会が記載されている。仲間増やしの新たな方針として「1万人組合員10年計画」が提起されているが、最初に提起されたのは今年の春の組織集会。重要な方針は大会か府本部委員会ですべき。

「1万人組合員10年計画」はあまりにも期間が長い。10年後に今の役員がいるかどうかからない。責任がもてない。もっと期間を短くすべきだ。第1期4年の計画では、4年後に8600人組合員にする計画だが、そのシミュレーションは毎年の減員を500人にしていく。2024年度の減員だけでも689人だから500人程度ですむわけがない。

年金受給者が日本には、3650万人いる。「年金者組合」は一つしか無いのだから、現役も入会できることを考えたなら国民的な組織にならないければならないのに、10万人では少なすぎる。これでは国に相手にされないのではないか。

何をするか。政府は年金受給者と現役世代の離反を図っている。メディアも一緒だ。これへの対策を考えなければならぬ。また、労働組合を通じて、現役世代への働きかけが重要と思う。若い世代と団結してやれることの確立が必要。労働組合と手を携えることが大切だ。現役世代を年金者組合に迎えた場合、組合費の考え方も検討が必要だ。いろいろな課題があるが、気を配ることが大事。

仲間増やしで新しい取り組みができた。純増にしていくなために、全組合員に手紙を作って紹介してほしいと呼びかけた。直接の成果にはならなかったが、良い経験になった。

また、年金署名は、仲間増やしと合わせて取り組み、組合員×3筆を達成した。決め手は、集合住宅2カ所140戸へ事前に署名とビラを入れた封筒を配布して、話ができた家ではかなりの確率で署名につながった。このことから仲間増やしにもつながった。

国会で自民と立憲が合意した年金の法案が通過する時期と重なり、50人規模目標の年金学習会が80人も集まり大成功。参加者からは、勝井府副委員長の話が良かったとの多くの感想を頂いている。

私は60代に年金者組合に加入して81歳になった。入って良かったと思う。支部が努力していることの1つは署名だ。署名を集めて平和と暮しを改善すること。24年度の署名は、年金487、核兵器禁止181、大軍拡反対192、保険証残せ461、介護制度改善270筆集めた。とくに核兵器禁止条約の署名は9年間で2431筆となった。

私は医療生協美原支部の支部長もしているが、政府の医療・介護削減政策のため病院や介護施設の倒産が相次ぐ状況に、強い危機を感じている。

年金者組合が、地域の医療を守り、権利として医療・介護を保障する運動を、医療・介護従事者と連帯し、大きな運動を展開することを呼びかける。

岡澤 文彦さん
(岸和田支部)



高瀬 敏幸さん
(寝屋川支部)



室井 弘さん
(鶴見支部)



内海 芳隆さん
(北支部)



渡辺 恭子さん
(高槻支部)



朝日 一雄さん
(吹田支部)



6月の支部代表者会議において、年金裁判の弁護団に対し、「謝礼金」を支払うような発言があったと記憶している。

このことに対して、私は大変疑問を感じている。裁判について、弁護士に必要経費を支払うのは当たり前だが、「成功報酬」ということが原則としてあり、生活保護費引き下げ裁判のように、大勝利をしておれば、謝礼金もありうることは思うが、「デフレ調整」など同じ内容で、争っているにもかかわらず、年金裁判は一度も勝利できていない。

裁判カンパは、組合員から支部が集め上納しているものだから、組合員が納得しなければならぬ。この「謝礼金」の取り扱いについては、慎重に論議してもらいたいと思う。

支部は、大規模支部から転落した。昨年から何とか大規模支部200人を早く回復するためには、機会あるごとに拡大を役員会で話し合い意識してきた。

役員は入会申込書を読むも持ち、1枚のみならずベストチャンス逃さないため、3枚を役員は持つよう意識化した。特別の拡大の作戦を立てた訳ではないが、これが拡大の大きな力になった。

つながりを生かして働きかけるようにし、私の場合は、うたごえサークルの仲間に働きかけ増やした。書記長から働きかけられたという事で、入ってくださった方もいる。書記長が先頭に立つという事は、自分が考えていた以上に影響力があった。大会現勢突破まで、あと2人なので頑張りたい。

支部は、活動方針の柱のひとつに、年金、社会保障、私たちの暮らしについて学習し、要求を出し合い、その実現の為に行動しようと呼んでいる。この1年間、年金学習会、年金・介護・国保料の学習会、年金・税金学習会と3回行ってきた。

支部の2つめの柱は、交流を活発にし、楽しい行事をしよう、要求や趣味に基づいた集いを進めようということ。プラネタリウム見学、箕面の紅葉鑑賞、忘年会等です。

3つめの柱は、仲間づくり。支部は昨年の府本部大会以降10人純増で、124%の組織になった。他に、念願のサークルができたこと。支給日宣伝などで年金署名にも積極的に取り組み、組合員の4倍の署名を集めたこと。役員会を丁寧に行っていることなど。

支部は、6人の拡大目標を達成した。その内2人は30歳台前半の若者だ。民主団体や革新政党の人の中には、年金者組合の存在は知っていても、その運動や組織を大きくしようという認識があまりない。

ヨーロッパ諸国では、年金者組合と産業別労働組合の力で社会保障を向上させてきている。フランスやイタリアの年金者組合には多くの青年・学生が結集している。

日本の低年金、中でも女性の低年金は、ジェンダー不平等の典型だ。年金引き上げ問題は、社会保障の中でも最も重要な課題だ。

年金者組合が大きくなることは、社会保障全体を前進させる事につながる。こういったことを労組や他団体と懇談している。

年金問題の取り組みでは、署名は組合員1人3筆全体で1000筆を目標に地域の団体に協力を呼びかけ、また毎月25日の25条宣伝行動・年金支給日宣伝で多くの市民に署名を広げてきた。併せて「物価高に見合う年金の引き上げを求める意見書」を市議会に提出した。介護問題では、生健会と協同して、不服審査請求書を53人分提出した。また、保険料の引き下げ、介護サービス改善に向けて市と交渉を行った。引き続き取り込みをしていく。加齢性難聴者の補聴器購入について、吹田高齢者クラブ連合会など9団体が協力し、市に公的補助を求める要望書を提出した。回答は「困難である」だった。現在要請署名を取り組み、11月市議会での採択を目指して運動を進めている。

女性部だより

第32回女性部総会を開催

七夕が過ぎ向暑の7月16日(水)グリーン会館2階大ホールにて13時30分



大阪労連女性部阿野寛子書記局次長からの挨拶

より「第32回女性部総会」を開催しました。

第27回参院選投票日が7月20日と迫る中で63人が参加しました。日時を間違えた方も2人程。開会の挨拶後、労連女性部阿野事務局次長から職場の賃上げなど遅々として進んでおらず女性の管理職が依然として少ない等と報告も兼ねて話されま

した。活動報告・会計・方針・予算案・他、後質疑・応答そして休憩後は笑いヨガ。講師の身振り手振りを参加者が真似ると会場が知らぬ間に「アツハハハ」と笑いの渦に。ブロック・支部の活動交流の後、総会宣言。そして無事閉会となりました。

大会の感想

●以前から言っています。夏でなく秋か春に変えてほしい。



何かいい盛り出し物無いかな～

しようか。資料の印刷・講師が居る場合はその連絡先など、担当の方が居るのでしようか。

●総会は暑い時期を避けたい方が多いのではないかと希望として9月頃では。

高槻のSさんの活動は相変わらず広範囲にわたっている。交野の女性部は頑張っていると思う。

2009年に女性部の役員を引退してからの参加です。私も13年間女性部役員をしていましたので懐かしかったです。支部交流(ブロック別)2

ブロック以外無かったことが残念です。地域のブ

ロック交流はとても参考になりますので実施できればいいですね。期待しています。

●昨年も総会の際にバザーを催してもらいとても楽しかったので今年はどうかなと心配でしたがやっぱり開催しててワクワクしました。ブローチを2

個買いました。

●今後はこの暑い時期は難しいのではないかと。年

度から考えると難しいとは思っているけれど。●最近の世界での悲しい出来ごと

*印は新任

2025年度府本部役員・委員 (アイウエオ順)

役職	名前	支部
部長	柏原 美子	吹田
副部長	渡辺 恭子	高槻
副部長	信藤 恵子	交野
事務局長	入江 いづみ	豊中
事務局次長*	中西 久美子	岸和田
会計	*古澤 エミ子	羽曳野
役員	江口 一江	河内長野
"	大橋 ひろみ	平野
"	古田 郁子	枚方
委員	足立 佳代子	富田林
"	*浜崎 道子	西成
"	大西 シズ子	高石
"	蔵本 ・内田	茨木
"	松岡 まき美	池田
"	篠原 正代	此花
"	嶋倉 不二子	和泉
"	寺岡 敦子	旭
"	平山 陽子	東淀川
"	広上 珠江	東住吉
"	上田 恵利子	寝屋川
"	梅本 千代子	東成
"	*若林 秀子	阿倍野
"	山本 美登利	堺北
"	吉岡 妙子	東大阪
"	渡辺 和恵	浪速
"	竹村 聖	住吉
会計監査	佐藤 尚子	松原
"	皆川 三枝子	西淀川



☆今年1年間宜しくお願いします。

お知らせ

★第2回女性部委員会は8月20日(水)13時30分、グリーン会館6階(熱中症予防のため)★総会時のバザー収益金は2万4300円でした。ご協力有難う御座いました。

自身も高齢になり活動にも参加出来ませんが年一回、皆さんの元気な顔を見る事が出来て嬉しいです。「笑いヨガ」がとても新鮮でした。※新役員の紹介及び抱負については、次号に掲載致します。

旅の思い出

沖縄旅行

西淀川支部

狩俣 昭美

夫が糸満小学校と自分が住んでいた家のあたりを見てみたいということ
で2023年11月25日
娘と孫(25歳の女子)の
4人で2泊3日の沖縄の
旅に出かけました。

那覇のメイン通りで宿
を取り、夕方散歩に出か
けると居酒屋から蛇味線

私是非正規労働者とし
て仕事をしています。昨
年、年金者組合堺美原支
部の学習会に初めて参加
をしました。その場で年
金者組合に加入し、交通
災害共済と医療共済に加
入しました。

共済だより

その後、し
ばらくして会
社の仕事が忙
しくなり、心
と体を痛めて

糸満市にある

ひめゆりの塔



の音と賑やかな歌声が流
れていました。

翌朝、レンタカーでひ
めゆりの塔へと向かって
いると隣の道路はアメリ
カの軍用道路で道幅は倍

しまい、通院しました。
その時、医療共済に助け
てもらって、とても感謝
しています。

わたしは非正規
労働者として
仕事をしています。

今、働くことは大変で
す。助け合うことのでき
る共済は大切だと思っ
ています。

堺美原支部 H・H

以上でした。アメリカ
言いなりの日本政府に怒
りを覚えました。

那覇の水族館では、ア
シカショーが可愛く、ま
たジンベイザメ(現地で
は人喰いザメとか?)が
圧巻でした。

ひめゆりの塔では、女
学生の痛ましい姿がミ
ニシアターで再現され涙
を誘われました。

今この時間に、世界の
どこかで愚かな戦争が行
われ、人や物が破壊され
ています。

戦争は絶対にしてはい
けないと思った旅でした。

★医療共済は

加入年齢が

65歳未満です。

・掛金は

1口月額100円で

20口まで加入できますが、

健康告知が必要です。

・加入範囲は

組合員本人、配偶者、

同居の親族、同一生計の

別居の未婚の子です。

サークル・行事紹介

「美味しい銘酒を嗜む会」

箕面支部



2025. 2. 26 第100回記念
「灘五郷」酒蔵めぐりに行きました

2013年1月、男女
数名の組合員により酒を
美味しく味わいながら飲
談する場を設けようとの

相談がまとまり、「美味
しい銘酒を嗜む会」と名
付けて翌年2月7日に第
1回月例会を開催しまし
た。月1回の定例会とし
て各地の地酒などを持ち
寄って細々と続けるうち、
女性組合員有志が手作りの
サラダや酒肴を持ち寄っ
て集まるようになり、そ
の年の12月には男女10人
ほどの顔ぶれで開催する
までに成りました。

中谷酒造と伝手を頼って
の酒蔵訪問を続け、数年
のうちに伏見の月桂冠、
黄桜酒造・伊丹の老松白
雪ブルワリー・灘五郷の
沢の鶴、白鶴、菊正宗・
西宮の大関、白鹿、日本
盛…と訪れ各種運動との
タイアップで参加者は20
人を超えるまでに膨らみ
ました。

そしてこの頃にはメン
バーの構成比も女性6に
対して男性4という割合
で女性の参加が目覚まし
くなってきました。しか
し順風満帆もそこまで
で、コロナ渦のため、活
動自粛に追い込まれ20
22年10月に復活するま
でに2年半を要しました。

復活後は毎月開催にこ
だわらず行うこととし、
2024年4月に参加者
13名で第99回目の例会
を持ちました。

新生「美味しい銘酒を
嗜む会」は今後ますます
活動の場を広げて、多く
の組合員の皆さんと共に
歩みたいと張り切って居
ります。

M・T

年金者ぶんげい

俳句

あんぱんまん頬つぺちぎつてガザの子へ
松原支部 おくだまさこ
尼寺の秘仏開帳夏つばめ
平野支部 結城 恵子
筍煮この味だよと孫ぼつり
堺北支部 坂本多美子
笑み交わす杖と歩行器五月晴れ
堺堺支部 谷口規容子
リハビリを励むデイケア青葉風
西淀川支部 鳥井 久子
天地人燃ゆる霧島つつじかな
高槻支部 岩渕喜久代
病葉やなにが大国自由なく
和泉支部 後藤由美子
靴底の乾く大地や緑さす
寝屋川支部 藪木 増代

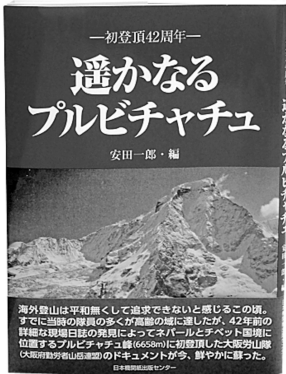
川柳

誕生日余命を知らせる警告日
太子河南支部 平山 絹江
食生活米からパンや粉もんに
平野支部 長澤 正俊
一万円崩せばすぐにゼロになり
高石支部 正木 千春
前向きに生きる姿勢が長生きに
堺北支部 古賀 光政
美味しい米食べて生きてく幸せを
堺堺支部 飛谷 康子
一瞬で空白埋まる同窓会
羽曳野支部 広瀬きみ丸
働けど老後になつても働けど
堺堺支部 大田 孝夫
動物の餌を横取り人間が
河内長野支部 森本 万作

短歌

花わさびしらじらと咲く頃なれば孫の一家は
やすらげくあれ 高石支部 大西 博美
白浜のパンダを見し春案内の和歌山の友は健
やかなりしよ 堺北支部 大西 孝子
農たたみ再挑戦の資本論意気高きまま友風と
なる 枚方支部 熊倉 綾乃
人類も絶滅危惧種戦争を止めない国と始める
国と 堺堺支部 南 幸子
すみ染めの衣を風になびかせて単車の僧侶吾
を追ひこす 河内長野支部 才竹きみ子
しとしとと静かに聞こえる梅雨の午後あじさ
いの花堂と咲き 高槻支部 松村 起
険しくも楽しき仲間あまたあり世直し人生妻
と歩みし 吹田支部 阿部 誠行
（文芸欄は投稿や各支部発行の機関紙に掲載され
た作品を紹介しています。選者…織部巖）

その二冊 今も読書



平和和也氏と中島健郎氏のドキュメンタリーを見た。登山の過酷さと記録する大変さを感じた。

過酷な挑戦録
最近テレビで、K2西壁で遭難したクライマー、

にした大阪登山隊による登山ドキュメント。隊長だった編者が連日テントの中で日誌を書いていた。

『初登頂42周年 遙かなるプルビチャチュ』
安田一郎編／2025年6月／日本機械出版社／A5判46頁／本体1400円



江戸文化を作った敏腕編集者

次々とベストセラーを出した出版業者、編集者。

『江戸文化を作った敏腕編集者』
菅原重三郎は江戸中期、次々とベストセラーを出した出版業者、編集者。

25年NHK大河ドラマ「べらぼう」の主人公だ。ドラマからもいかに編集好きで敏腕かわかるが、本書によって、菅原の多彩な仕事の全容や、功績の大きさを知る。太田南畝や山東京伝、喜多川歌麿、東洲斎写楽ら、数々の作家や絵師の

『菅原重三郎 江戸を編集した男』
田中優子著
2024年10月
文春新書253ページ
本体1000円